

(3) その他

悪性腫瘍の治療にプラチナ系抗癌剤等（8月18日）及びテガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム（11月10日）を使用しており、薬剤性の劇症肝炎の疑いも完全には否定できない。

## 輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われた事例 （6月23日報告）について

### 1 経緯

平成17年6月23日、日本赤十字社から輸血（赤血球濃厚液及び新鮮凍結血漿）によるHBV感染の疑い事例で患者が死亡した症例の報告があった。

### 2 事例

50歳代の男性。原疾患は消化管腫瘍。平成17年2月3日に手術施行のため、赤血球濃厚液合計8単位、新鮮凍結血漿合計30単位を受ける。

輸血前の血液検査（平成16年12月）ではHBs抗原検査陰性、輸血後の平成17年4月6日でもHBs抗原検査陰性であったが、退院時の平成17年4月21日にHBs抗原検査陽性が確認された。

その後、平成17年6月13日に発熱、全身倦怠感等出現し、肝機能値が高値を示し、6月16日再入院、6月20日には、HBs抗体、HBc抗体、HBe抗原、HBe抗体のいずれも陽性が確認された。また、同日のHBcのIgM抗体も陽性であり、劇症肝炎と診断される。

患者は、7月3日にB型劇症肝炎にて死亡した。

患者の検体のHBVの解析結果は、ジェノタイプC、サブタイプadrであり、CP/Pre Core領域の塩基配列の解析からPreC部位には変異はなく、CP（Core Promoter）部位に変異があるCP変異、PreC野生株であった。

### 3 状況

#### （1）輸血された血液製剤について

- ① 当該患者には20人の供血者から採血された赤血球濃厚液等を輸血。
- ② 20人の供血者と同一の供血者に由来し、同時に製造された原料血漿は17本のうち10本が確保、新鮮凍結血漿6本のうち3本は確保済み。15本の赤血球濃厚液はすべて医療機関へ供給済み。医療機関への情報提供は実施済み。

#### （2）20人の供血者について

供血者20人のうち、13人が再採血・献血に来場（HBV関連検査は陰性）。

#### （3）供血者個別NATの試験結果

輸血時の供血者20人の供血時の保管検体について、個別NATを実施したところ、すべて陰性であった。

### 4 今後の対応

#### （1）供血者7人の再献血・検査に係るフォローを行う（再採血の依頼中）。

#### （2）血液の安全対策の推進

「輸血医療の安全確保のための総合対策」を着実に実施する。

# 輸血用血液製剤によるHEV（E型肝炎ウイルス）感染が疑われた事例 （12月3日報告）について

## 1. 経緯

平成16年12月3日、日本赤十字社から、輸血（人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液）を受けた症例でHEV感染の疑い事例の報告があった。平成16年12月1日に当該症例は日本肝臓学会東部会で主治医より発表されている。

## 2. 事例

患者は、平成11年から12年にかけて血液疾患の治療のため、輸血を複数回受けた20歳代の男性。

輸血後の平成12年3月の血液検査で肝機能値の異常が認められたが、A型、B型及びC型肝炎ウイルス関連検査は陰性であり、当初薬剤性肝障害が疑われたが、同年4月の保存検体を用い、HEV-RNA陽性（但しHEV抗体はIgM、IgG共に陰性）が確認（平成16年8月末）され、E型肝炎が疑われた。

患者はその後肝機能は改善したが、転院し、原疾患の合併症により死亡との情報を入手している。

## 3. 感染についての状況

### (1) 輸血された血液製剤について

- ① 平成11年9月から12年3月にかけて当該患者に投与された人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液の供血者数は62人との情報あり。
- ② 当該の供血者と同一の供血者に由来し、同時に製造された新鮮凍結血漿は医療機関へ供給済みである。投与された別の受血者（平成11年11月投与）において、現在まで肝障害等特に異常はなかったとの報告を受けている。

### (2) 供血者個別 NAT の試験結果

調査した62本の保管検体のうち、1本からHEV-RNAが検出。受血者及び供血者共にジェノタイプⅢであることを確認し、塩基配列の比較は、100%一致の相同性が確認された。

### (3) 供血者に関する情報

- ① 供血者の平成11年当時の海外渡航歴はなく、喫食歴については調査中である。
- ② 供血者の当該献血以後の献血は、肝機能値が高値のため、不適となっている（保管検体のHEV-RNA検査は陰性）。

## 4. E型肝炎の状況

- (1) E型肝炎は通常は経口感染が主な感染経路である。潜伏期間は2～9週間である（平均6週間）。また、感染初期にウイルス血症を起こすため、輸血による感染を起こすおそれがあり、国内での輸血による感染が2例報告されている。（平成14年及び16年）
- (2) 現在厚生労働科学研究班（主任研究者：三代俊治東芝病院研究部長）において、E型肝炎の疫学調査を進めている。

## 5. 厚生労働省の対応

- (1) 供血者の平成11年当時の渡航歴はなく、喫食歴については調査中である。
- (2) E型肝炎は通常は経口感染が主な感染経路であることから、豚由来の食品や野生動物の食肉は十分に加熱調理を行うよう営業者及び消費者に対し、再度周知徹底する通知が食品安全部から発出されている（11月29日）。
- (3) 献血における問診強化・HEV検査の北海道での試行的な対策の効果及び疫学調査の動向を踏まえ、これらの対策の拡大を検討する。

**供血者発の遡及調査により、輸血用血液製剤でHCV（C型肝炎ウイルス）  
感染が疑われた事例（5月17日報告）について（追加）**

**1. 経緯**

平成17年5月17日、供血者発の遡及調査により供血者のHCVの個別NAT陽性が判明し、当該血液に由来する輸血（赤血球濃厚液）によるHCV感染の疑い事例があったとの報告が日本赤十字社からあった。

**2. 事例**

80歳代の女性。原疾患は血液疾患。平成16年4月21日に輸血を1回（赤血球濃厚液2単位）を受ける。

輸血前の血液検査（平成15年10月29日）では、HCV抗体検査陰性（IRMA法第3世代）であったが輸血後の平成16年8月4日に肝機能値の上昇及びHCV抗体検査陽性（IRMA法第3世代）が確認された。

輸血後の平成16年8月4日及び9月1日時点での患者検体で、いずれもHCV抗体及びHCV-RNAはそれぞれ陽性、平成17年5月17日時点での患者検体では、HCV抗体陽性（PHA法及びEIA法）は確認されたが、HCV-NATは陰性であった。

平成16年8月4日の患者検体のHCVのCore領域の塩基配列と供血者個別NATはすべて一致（Genotype 1b(II)）した。

**3. 状況**

**(1) 輸血された血液製剤について**

- ① 当該患者には1人の当該個別NAT陽性の供血者から採血された赤血球濃厚液を輸血。
- ② 同一の供血者に由来し、同時に製造された原料血漿は確保、新鮮凍結血漿1本は供給済み（投与された患者は原疾患により死亡）。

**(2) 供血者について**

当該供血者の供血時の陽転により、遡及したところ、当該血の個別NATが陽性と判明したものである。

**(3) 当該患者の健康状態**

輸血後の平成16年6月2日に肝機能値の上昇が見られ、8月13日に最大となった以降肝機能値は減少、現在は回復している。

**4. 今後の対応等**

- (1) 当該患者のフォローアップを引き続き実施する。
- (2) 50 プールNAT導入後のHCVのミニプールNATすり抜け事例としては、これまで平成15年の1例があり、本事例で2例目。
- (3) 血液の安全対策の推進  
「輸血医療の安全確保のための総合対策」を着実に実施する。

## 輸血用血液製剤で細菌感染が疑われた事例(7月25日報告)について

### 1 経緯等

平成17年7月25日、日本赤十字社から輸血(人血小板濃厚液)による細菌感染疑いの症例の報告があった。

### 2 事 例

70歳代の女性。原疾患は血液腫瘍等。

平成17年月7月21日、輸血(人血小板濃厚液10単位1本)を実施。輸血終了後1時間後の発熱(38.5℃)、抗生物質投与、その後、14時間30分後に患者の血液培養により、グラム陰性桿菌検出、敗血症性ショックと診断。翌日、患者死亡。死因は敗血症性ショックとの医師の所見。

### 3 状 況

(1)輸血された輸血用製剤について

- ・ 当該患者には、1人の供血者から採血された赤血球製剤を輸血。
- ・ 当該製剤に関わる血漿は原料血漿1本ともに確保済み。

(2)検体検査の状況

- ・ 日本赤十字社から輸血血液と同一採血番号の血漿について、無菌試験の検査結果は陰性であった。

(3)患者検体の調査

- ・ 患者血液培養では緑膿菌と同定。

(4)担当医の見解

- ・ 死因は敗血症性ショックであり、輸血との関連ありとの医師の所見。

### 4 今後の対応

(1)今後、遡及調査ガイドラインの徹底や細菌を除去・不活化する方策の検討を進める。

## 輸血用血液製剤で細菌感染が疑われた事例(9月12日報告)について

### 1 経緯等

平成17年9月12日、日本赤十字社から輸血(赤血球濃厚液)による細菌感染疑いの症例の報告があった。

### 2 事 例

70歳代の男性。原疾患は消化器疾患等。

平成17年月9月7日、輸血(赤血球濃厚液2単位1本)を実施。輸血終了後翌日に発熱(38.5℃)、抗生物質投与、その後、同日の患者の血液培養検査により、後日グラム陰性桿菌検出。ただし、喀痰からは同菌の検出はなかった。9月11日に敗血症にて患者死亡との診断。

### 3 状 況

(1)輸血された輸血用製剤について

- ・ 当該患者には、1人の供血者から採血された赤血球製剤を輸血。
- ・ 当該製剤と同一供血者から製造された新鮮凍結血漿、原料血漿ともに確保済み。

(2)検体検査の状況

- ・ 日本赤十字社から輸血血液と同一採血番号の血漿について、無菌試験の検査は陰性。

(3)患者検体の調査

- ・ 患者血液培養では *Klebsiella Pneumoniae* と同定。

(4)担当医の見解

- ・ 輸血との関連の可能性ありとの医師の所見。

### 4 今後の対応

(1)今後、遡及調査ガイドラインの徹底や細菌を除去・不活化する方策の検討を進める。

## 感染症報告の取扱いについて

H16.8.10  
血液対策課

### 1 これまでの取扱い

- (1) 血液製剤投与後に使用患者の感染症検査結果が陽性（＋）であって、保管検体の個別 NAT も陽性（＋）の場合、又は死亡等の重篤な転帰となった場合等の重要なケースでは、その後の当該原料血の他製剤原料としての使用停止等の取扱いを含め、運営委員会委員と相談の上、血液対策課が血液事業部会運営委員会に報告してきたところ。
- (2) また、遡及調査により、献血者等において感染が判明し、その献血者に由来する血液の使用如何に関わらず、その後の当該原料血の他製剤原料としての使用停止等の取扱いを含め、主として日本赤十字社が血液事業部会運営委員会に報告してきたところ。
- (3) ただし、感染症検査結果陽転例でも、死亡例等ではなく、また、保管検体の個別 NAT が陰性（－）の場合には、重篤性の観点から、また、報告時点では明確な因果関係がわからないことから、必ずしも運営委員会に報告は行ってはいない。

### 2 今後の対応

- (1) 血液製剤等の使用との関連が疑われる使用患者の感染症の報告については、感染症救済制度の検討対象となることから、平成 16 年 4 月以降は、個別 NAT が（－）、また、死亡等の転帰如何に関わらず、血液製剤投与後に感染症検査結果が陽性（＋）のものについては、血液対策課又は日本赤十字社から定期的に血液事業部会運営委員会に報告することとする。（報告は一覧表で行う。）
- (2) 8 月 10 日の運営委員会においては、4 月以降の（1）の症例についてもまとめて報告し、また、4 月に近接する時期の重篤な事例についても併せて報告する。

## 平成17年度感染症報告事例のまとめ（前回報告分以降）について

- 1 平成17年4月1日報告分以降、報告（新規及び追加）があった感染症報告（疑い事例を含む。供血者からの情報により開始した遡及調査によるものを除く。）は、輸血用血液製剤51件、血漿分画製剤4件である。  
輸血用血液製剤の内訳は、

|                  |    |
|------------------|----|
| (1) B型肝炎報告事例：    | 24 |
| (2) C型肝炎報告事例：    | 16 |
| (3) HIV感染報告事例：   | 0  |
| (4) その他の感染症報告事例： | 11 |
- 2 B型肝炎報告事例
  - (1) 輸血前後に感染症検査でHBs抗原（又はHBV-DNA）が陽転した事例は18例（うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は4例）。
  - (2) 血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性の事例は3例。
  - (3) 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は1例（劇症化例含む。）である。
- 3 C型肝炎報告事例
  - (1) 輸血前後に抗体検査（又はHCV-RNA）が陽転した事例は13例（うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は5例）。
  - (2) 使用した血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性事例は1例。
  - (3) 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例。
- 4 その他感染症報告事例
  - (1) 細菌等感染報告事例において、血液製剤を提供した献血者の保管検体の無菌試験陽性事例は0例である。
  - (2) サイトメガロウイルス感染疑い事例は2例である。
  - (3) 輸血後に死亡（原疾患による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は1例である。
- 6 血漿分画製剤での報告事例  
新規4例については、原料血漿のNAT陰性、ウイルスクリアランスも確認している。フィブリノゲン加第13因子製剤（HCV Genotype 1a疑い症例）については、別途報告。



## 輸血によるHBV感染報告例(疑い例を含む。)

| FAX受付日    | 報告受領日     | 一般名                                                    | 患者性別 | 年代 | 原疾患   | 感染症名 | 投与年月                                                 | 投与前検査<br>(年月)                                            | 投与後検査<br>(年月)                                                                                                       | 受血者個別NAT                           | 献血者個別<br>NAT          | 併用血液製剤                                                     | 備考                                                                                              | 使用単位<br>数           | 供血者<br>有数血                                          | 同一供血者製<br>剤複数使用                                               | 同一供血者製剤<br>使用※                          |
|-----------|-----------|--------------------------------------------------------|------|----|-------|------|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-----------------------|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 2005/4/5  | 2005/4/19 | 人血小板濃厚液(放射線照射)                                         | 男    | 60 | 血液腫瘍  | B型肝炎 | 04/02                                                | HBsAg(-)<br>HBcAb(+)<br>(03/10)                          | HBsAg(+)<br>HBcAb(+)<br>(05/03)                                                                                     | 陽性(輸血後)                            | NAT(-)                |                                                            |                                                                                                 | 10単位                | 1/1                                                 | 1本の原料血漿を製造。                                                   | 1本の原料血漿を製造。原料血漿は使用済み。                   |
| 2005/4/7  | 2005/4/19 | 人赤血球濃厚液(放射線照射)                                         | 男    | 30 | 骨折    | B型肝炎 | 02/03                                                | HBsAg(-)<br>(02/03)                                      | HBsAg(+)<br>HBsAg(+)<br>HBsAb(-)<br>HBcAb(-)<br>(04/12)<br>HBsAg(-)<br>HBcAb(-)<br>HBcAb(+)<br>HBcAb(wt)<br>(05/03) | 陽性<br>(輸血後、<br>04/12)<br>陰性(05/03) | NAT(-)                |                                                            | 4単位                                                                                             | 1/2                 | 2本の原料血漿を製造。                                         | 原料血漿はすべて使用済み。                                                 |                                         |
| 2005/4/8  | 2005/4/19 | 人赤血球濃厚液(放射線照射)                                         | 男    | 60 | 血液腫瘍  | B型肝炎 | 04/07、/08                                            | HBsAg(-)<br>(04/06)                                      | HBsAg(+)<br>HBcAb(+)<br>HBcAb(+)<br>(05/04)                                                                         | 陽性(輸血後)                            | NAT(-)                |                                                            |                                                                                                 | 4単位                 | 1/2                                                 | 2本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は1本は確保済み。                            | 原料血漿は1本は使用。新鮮凍結血漿は医療機関へ供給済み。            |
| 2005/4/13 | 2005/4/28 | 新鮮凍結人血漿                                                | 男    | 60 | 消化器腫瘍 | B型肝炎 | 05/01                                                | HBsAg(-)<br>(05/01)                                      | HBsAg(+)<br>HBsAb(-)<br>HBcAg(+)<br>HBcAb(+)<br>HBcAb(+)<br>(05/04)                                                 | 陰性(輸血前)<br>陽性(輸血後)                 | NAT(-)                |                                                            | 劇症肝炎で死亡。輸血との関連性なく、院内感染との医療機関のコメント有り。                                                            | 8単位                 | 1/4                                                 | 4本の新鮮凍結血漿、4本の赤血球MAPを製造。                                       | 新鮮凍結血漿、赤血球MAPともにすべて医療機関へ供給済み。           |
| 2005/4/14 | 2005/4/28 | 人赤血球濃厚液<br>人血小板濃厚液<br>人赤血球濃厚液(放射線照射)<br>人血小板濃厚液(放射線照射) | 女    | 50 | 血液腫瘍  | B型肝炎 | 02/01~<br>05/04<br>02/03~<br>05/03<br>04/12<br>05/04 | HBsAg(-)<br>(01/10)<br>HBsAg(-)<br>HBsAb(-)<br>(03/08)   | HBsAg(-)<br>(05/01)<br>HBsAg(+)<br>HBcAg(+)<br>HBcAb(-)<br>HBcAb(-)<br>(05/04)                                      | 陽性(輸血前)<br>陽性(輸血後)                 | NAT(-)                | (追加情報)10本の原料血漿、10本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿全て使用済み、新鮮凍結血漿全て医療機関へ供給済み。 | 46⇒70単位<br>115⇒135<br>単位<br>2単位<br>10単位                                                         | 6/35⇒<br>15/49      | 32本の原料血漿、16本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は31本確保済み。新鮮凍結血漿はすべて確保済み。 | 原料血漿1本使用                                                      |                                         |
| 2005/4/14 | 2005/4/28 | 人赤血球濃厚液(放射線照射)                                         | 男    | 90 | 消化器疾患 | B型肝炎 | 03/01                                                | HBsAg(-)<br>(03/01)                                      | HBsAg(+)<br>(04/03)(04/09)(05/02)<br>HBcAg(+)<br>HBcAb(-)<br>HBcAb(+)<br>(05/02)<br>HBsAb(-)<br>(05/02)             | 陽性(輸血後)                            | NAT(-)                |                                                            | 05/02/21死亡(全身衰弱、本剤との関連性なし)                                                                      | 4単位                 | 2/2                                                 | 2本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。                                         | 原料血漿すべて使用済み。新鮮凍結血漿医療機関へ供給済み。            |
| 2005/4/19 | 2005/5/6  | 人赤血球濃厚液<br>人赤血球濃厚液(放射線照射)<br>新鮮凍結人血漿                   | 女    | 50 | 泌尿器腫瘍 | B型肝炎 | 05/01                                                | HBsAg(-)<br>HBcAb(-)<br>(04/12)                          | HBsAg(+)<br>(05/04)                                                                                                 | 陰性(輸血前)<br>陽性(輸血後)                 | 27本NAT(-)<br>1本NAT(+) | プラズマプロテインフラクション<br>250ml                                   | 片割れ製剤受血者情報;HBV-DNA(+)となった当該輸血用血液と同一の採決番号の製剤として、1本の原料血漿、1本の赤血球MAPが製造されており、原料血漿は使用済み、赤血球MAPは供給済み。 | 22単位<br>6単位<br>28単位 | 2/28                                                | 21本の原料血漿、12本の新鮮凍結血漿、14本の赤血球MAPを製造。原料血漿は14本確保済み。新鮮凍結血漿は5本確保済み。 | 原料血漿7本使用済み。新鮮凍結血漿7本供給済み。赤血球MAPはすべて使用済み。 |
| 2005/4/20 | 2005/5/6  | 人赤血球濃厚液<br>新鮮凍結人血漿<br>人血小板濃厚液(放射線照射)                   | 女    | 10 | 小児腫瘍  | B型肝炎 | 04/11<br>04/11<br>05/02~03                           | HBsAg(-)<br>(04/04)(04/11)(05/01)<br>HBsAb(-)<br>(05/01) | HBsAg(+)<br>HBsAb(+)<br>HBcAb(+)<br>(05/04)                                                                         | 陰性(輸血前)<br>陽性(輸血後)                 | 8本NAT(-)<br>1本NAT(+)  |                                                            | 片割れ製剤受血者情報;HBV-DNA(+)となった当該血液と同一採決番号の製剤として原料血漿、新鮮凍結血漿各1本ずつあるが確保済み。                              | 8単位<br>5単位<br>40単位  | 4/9                                                 | 8本の原料血漿、3本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿はすべて確保済み。                     | -                                       |
| 2005/4/28 | 2005/5/13 | 人赤血球濃厚液(放射線照射)<br>新鮮凍結人血漿                              | 男    | 80 | 泌尿器疾患 | B型肝炎 | 02/10                                                | HBsAg(-)<br>(02/10)                                      | HBsAg(+)<br>HBsAb(-)<br>HBcAb(-)<br>(03/11)                                                                         | 陰性(輸血後)                            | NAT(-)                |                                                            | (次回献血におけるNATスクリーニング陽性血有。当該献血の個別NAT(-)。同一採決番号製剤は1本の原料血漿(使用済み)、1本の赤血球MAP(減換液済み)。                  | 4単位<br>4単位          | 3/3                                                 | 3本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿、1本の赤血球MAPを製造。                               | 原料血漿は使用済み。新鮮凍結血漿は1本、赤血球1本は医療機関へ供給済み。    |

|           |           |                                                          |   |    |       |      |                                    |                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                    |                    |                                |                 |                                                              |                              |       |                                                                                                            |                                                                                                |
|-----------|-----------|----------------------------------------------------------|---|----|-------|------|------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------|------------------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2005/5/10 | 2005/5/23 | 人赤血球濃厚液<br>人血小板濃厚液(放射線照射)                                | 男 | 50 | 血液腫瘍  | B型肝炎 | 04/08~<br>/12,<br>04/08~<br>05/01  | HBsAg(-)<br>HBcAb(-)<br>(04/08)                                                                                                               | HBsAg(+)<br>HBsAb(-)<br>HBeAg(+)<br>HBsAb(-)<br>HBcAb(+)<br>(05/04)                                                                                                | 陰性(輸血前)<br>陽性(輸血後) | NAT(-)                         | ヘパリン、7ルフミ<br>ナー | 肝炎所見は認めず。5/10急性<br>白血病再発、敗血症、肺炎に<br>より死亡。輸血との関連性は<br>担当医は否定。 | 38単位<br>100単位                | 16/29 | 28本の原料血<br>漿、8本の新鮮<br>凍結血漿を製<br>造。原料血漿19<br>本は確保済み。<br>新鮮凍結血漿1<br>本は確保済み。                                  | 原料血漿9本使<br>用。新鮮凍結血<br>漿7本は医療機<br>関へ供給済み。                                                       |
| 2005/5/12 | 2005/5/25 | 人赤血球濃厚液<br>人血小板濃厚液(放射線照射)<br>新鮮凍結血漿<br>人血小板濃厚液(放射線照射)    | 男 | 70 | 心疾患   | B型肝炎 | 05/02                              | HBsAg(-)<br>(05/02)                                                                                                                           | HBsAg(+)<br>(05/05)                                                                                                                                                | 陰性(輸血前)<br>陰性(輸血後) | NAT(-)                         |                 |                                                              | 4単位、<br>2単位、<br>8単位、<br>20単位 | 2/9   | 9本の原料血<br>漿、1本の新鮮<br>凍結血漿、4本の<br>赤血球MAPを製<br>造。原料血漿の<br>5本は確保済<br>み。新鮮凍結血<br>漿は確保済み。                       | 原料血漿4本は<br>使用済み。赤血<br>球MAPはすべて<br>医療機関へ供給<br>済み。                                               |
| 2005/5/12 | 2005/5/25 | 人血小板濃厚液(放射線照射)                                           | 男 | 30 | 血液疾患  | B型肝炎 | 05/03                              | HBsAg(-)<br>(05/02、/04)                                                                                                                       | HBsAg(+)<br>(05/05)                                                                                                                                                | 陰性(輸血前)<br>陰性(輸血後) | NAT(-)                         |                 |                                                              | 80単位                         | 2/7   | 7本の原料血漿<br>を製造。全て確<br>保済み。                                                                                 | —                                                                                              |
| 2005/5/31 | 2005/6/14 | 人赤血球濃厚液                                                  | 女 | 50 | 外傷    | B型肝炎 | 04/08                              | HBsAg(-)<br>(04/08)                                                                                                                           | HBsAg(-)、<br>HBsAb(+),<br>HBcAb(+)<br>(05/04)                                                                                                                      | 陰性(輸血後)            | NAT(-)                         |                 |                                                              | 4単位                          | 0/2   | 2本の原料血<br>漿、1本の新鮮<br>凍結血漿を製<br>造。                                                                          | 原料血漿はすべ<br>て使用済み。新<br>鮮凍結血漿は医<br>療機関へ供給済                                                       |
| 2005/6/6  | 2005/6/17 | 人赤血球濃厚液<br>人血小板濃厚液                                       | 男 | 60 | 血液腫瘍  | B型肝炎 | 04/10-<br>05/04<br>03/05-<br>05/03 | HBsAg(-)<br>(04/01)<br>(04/07)<br>HBsAg(-)<br>HBsAb(-)<br>HBcAb(-)<br>(05/03)                                                                 | HBsAg(+)<br>HBsAb(-)<br>HBeAg(+)<br>HBsAb(+)<br>HBcAb(-)<br>(05/05)                                                                                                | 陰性(輸血前)<br>陽性(輸血後) | NAT(-)                         |                 |                                                              | 34単位<br>80単位                 | 9/26  | 25本の原料血<br>漿、9本の新鮮<br>凍結血漿を製<br>造。原料血漿は<br>22本確保済み。<br>新鮮凍結血漿<br>は5本確保済                                    | 原料血漿は3本<br>使用済み。新<br>鮮凍結血漿は4<br>本医療機関へ供<br>給済み。                                                |
| 2005/6/7  | 2005/6/20 | 人血小板濃厚液<br>人血小板濃厚液(放射線照射)                                | 男 | 50 | 血液腫瘍  | B型肝炎 | 01/09                              | HBsAg(-)<br>(01/04)                                                                                                                           | HBsAg(+),<br>HBsAb(-),<br>HBeAg(+),<br>HBcAb(-),<br>HBcAb(+)<br>(05/05)                                                                                            | 陽性(輸血後)            | NAT(-)                         | ポリグロビン          | 兄よりHBsAg(-)同種末梢血<br>幹細胞移植01/09                               | 20単位                         | 1/2   | 2本の原料血漿<br>を製造。                                                                                            | 全て使用済み。                                                                                        |
| 2005/6/7  | 2005/6/20 | 人赤血球濃厚液(放射線照射)<br>人血小板濃厚液(放射線照射)                         | 女 | 20 | 血液腫瘍  | B型肝炎 | 04/10-<br>05/02<br>04/09-<br>05/02 | HBsAg(-)<br>(04/12)<br>HBsAb(-)<br>HBcAb(-)<br>(05/01)<br>HBsAg(-)<br>HBsAb(+)<br>HBcAb(+)<br>HBeAg(-)<br>HBsAb(-)<br>IgM-HBcAb(-)<br>(05/05) | HBsAg(-)<br>HBsAb(-)<br>HBeAg(+)<br>HBsAb(+)<br>HBcAb(-)<br>(05/05)                                                                                                | 陰性(輸血後)            | NAT(-)                         | ヘパリン            | 弟より同種幹細胞移植05/02                                              | 20単位<br>180単位                | 21/28 | 28本の原料血<br>漿、7本の新鮮<br>凍結血漿を製<br>造。原料血漿は<br>全て確保済み。                                                         | 新鮮凍結血漿は<br>すべて供給済み。                                                                            |
| 2005/6/8  | 2005/6/20 | 人赤血球濃厚液(放射線照射)<br>人血小板濃厚液(放射線照射)<br>新鮮凍結人血漿              | 男 | 40 | 循環器疾患 | B型肝炎 | 04/09-<br>04/11<br>04/09<br>04/09  | HBsAg(-)<br>(05/03)<br>HBsAg(+),<br>HBsAb(-),<br>HBeAg(-)<br>HBeAb(+)<br>IgM-<br>HBcAb(+)<br>(05/05)                                          | HBsAg(-)<br>(05/03)<br>HBsAg(+),<br>HBsAb(-),<br>HBeAg(-)<br>HBeAb(+)<br>IgM-<br>HBcAb(+)<br>(05/05)                                                               | 陽性(輸血後)            | NAT(-)                         |                 |                                                              | 62単位<br>80単位<br>114単位        | 51/91 | 90本の原料血<br>漿、19本の新鮮<br>凍結血漿、56本<br>の赤血球MAP、<br>1本の洗浄赤血<br>球を製造。原料<br>血漿は23本確<br>保済み。新鮮凍<br>結血漿は3本確<br>保済み。 | 原料血漿は87本<br>使用済み。新鮮<br>凍結血漿は16<br>本は医療機関へ<br>供給済みで、赤<br>血球MAP及び洗<br>浄赤血球はすべ<br>て医療機関へ供<br>給済み。 |
| 2005/6/10 | 2005/6/27 | 人赤血球濃厚液(放射線照射)<br>人血小板濃厚液(放射線照射)<br>白血球除去赤血球液(放射線照<br>射) | 女 | 60 | 血液腫瘍  | B型肝炎 | 04/06-10、<br>04/05-11、<br>04/05-06 | HBsAg(-)<br>(03/12)                                                                                                                           | HBsAb(-)<br>HBcAb(+)<br>(04/06)<br>HBsAg(-)<br>HBsAb(-)<br>(04/08)<br>HBsAg(+),<br>HBeAg(+),<br>HBsAb(-)<br>HBcAb(+)<br>IgM-<br>HBcAb(+),<br>HBV-DNA(+)<br>(05/04) | 陽性(輸血後)            | 保管検体20本<br>についてHBV-<br>NAT検査予定 |                 |                                                              | 10単位<br>120単位<br>6単位         | 10/20 | 調査中                                                                                                        | 調査中                                                                                            |